



自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

*Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety*

(L) (I) (O) (N) (S)

## 会長基本方針

(2013.7~2014.6)

1. 50周年記念大会を全員参加で盛り上げ成功させよう
2. LCIF基金
3. 青少年健全育成事業の推進
4. 例会・委員会を通じて共に学びライオンズの基本理念を考える
5. 委員会活動を活発に行う
6. 思いやり、気遣いを持って例会運営にあたる
7. 継続事業の実施・献血(三献)・環境保全
8. 会員増強と在籍会員の維持

駒ヶ根ライオンズクラブ会報 第140号

■発行日/平成26年2月7日 ■発行者/駒ヶ根ライオンズクラブ 会長 田中一正 ■編集責任者/PR・IT委員長 米沢浩一  
 ■事務局/駒ヶ根市上穂米町3-1 駒ヶ根商工会館4F TEL.0265-83-7806 FAX.0265-83-8386  
 ■制作/ブランドゥ ■印刷/株式会社 宮澤印刷

# 会報

vol.140

2014年2月

## KOMAGANE LIONS CLUB

会長スローガン

### 「過去に感謝し～未来への飛躍」

# 絆紡いで50年



2013.11.17 クラブ結成50周年記念式典

334 - E地区1R2Z



駒ヶ根ライオンズクラブ

# 新年のご挨拶

# と役員のご紹介



## ◆新年のご挨拶

会長  
L. 田中 一正

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。長引く景気の低迷、少子高齢化、人口の減少など不安材料が山積みするなか、希望に満ちたクラブ誕生から半世紀、地域と共に歩んできた歴史を振り返りつつ今期のスローガン「過去に感謝し～未来への飛躍」を掲げ昨年4月より結成50周年記念大会に取り組みました。環境保全に関わる事業、子孫への健全な未来を継続する事業、聴覚障害者支援事業、など様々な事業をメンバー皆様のご協力のもとに50周年記念大会に相応しい事業が出来ました。新たな奉仕活動として、薬物乱用から青少年を守り健全育成をはかる目的で、メンバーが薬物乱用防止教育認定講師の資格をとり、自ら講師として学校に出向き薬物乱用教室を開催できるように講師の養成に取り組んでいます。節目の年を契機に、今一度初心に帰りライオンズクラブの基本理念を考え「We Serve」の精神を忘れず、新たな目標に向かって地域に密着した奉仕活動に取り組んでいきたいと思っております。皆様の変わらぬご支援をお願いします。会員の皆様、ご家族の皆様のご健勝と、更なるご活躍を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## ◆年頭にあたって

駒ヶ根市長  
杉本 幸治

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から市政に対します、ご理解とご協力に心から感謝申し上げますとともに、社会奉仕を通じて地域社会の発展のために、多大なご貢献をいただいておりますことに、心から感謝と敬意を表する次第です。また、昨年は、創立五十周年を迎えられ、記念して電気自動車並びに市内の中学校にパソコンやデジタルカメラなどを寄贈賜りましたことに、重ねて御礼申し上げます。さて、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道といった高速交通網が現実のものとなり、伊那谷も長野県の南の玄関口として新たな時代を迎えようとしています。これらの高速交通網の整備を千載一遇のチャンスと捉え、まちづくりに生かしていくため、多くの皆さまのご意見を伺い、向こう十年間のまちづくりのビジョンとなる「駒ヶ根市第4次総合計画」を策定いたしました。目指す都市像は、「愛と誇りと活力に満ちた駒ヶ根市」とし、この都市像に向かって、みんなでまちづくりに取り組み、その結果、みんなが幸せを感じ、笑顔があふれることを願い、本計画のキャッチフレーズを「ともに創ろう！笑顔あふれるまち 駒ヶ根」といたしました。本年、当市は、市制施行六十周年を迎え、この記念すべき年に新たなまちづくりをスタートいたします。ライオンズクラブの会員の皆様には、「笑顔あふれるまち 駒ヶ根」を築いていくため、特段のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴クラブの益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



## ◆新春のご挨拶

飯島町長  
高坂 宗昭

新年明けましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。平素、貴クラブの町政に対するご支援とご協力に心から感謝申し上げます。さて昨年は、貴クラブの結成50周年記念行事が盛会裏に開催されましたこと誠にありがとうございました。青少年健全育成事業、スポーツ少年団と共に行う環境保全活動、その他社会奉仕活動など半世紀の永きにわたる地域に根付いた実践活動に対し深甚なる敬意を表します。また記念事業の一環として、町内の中学校へプロジェクターをご寄贈賜りましたことに対し厚く御礼申し上げます。今後、生徒の学習機器として有意義に活用をはかってまいります。飯島町においては、第5次総合計画の4年目として、国道153号伊南バイパス及び県道竜東線の早期全線開通に向けた取り組みの推進、高齢者と障害者の交流・憩いの場として「高齢者・障がい者交流センター」の建設、人口増対策・若者定住対策としての子育て支援の継続、更には、子どもからお年寄りまでが、安心して暮らすことができるよう、福祉、防災面での諸施策に万全を期してまいります。終わりに、今後とも一層の町政へのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、貴クラブ並びに会員の皆様のご健勝と益々飛躍されんことを心からお祈り申し上げます。



## ◆ごあいさつ

宮田村長  
小田切 康彦

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より村政に対するご理解とご協力に対し、厚くお礼申し上げますとともに、学校に対して多大なご支援をいただき感謝申し上げます。さて、景気は緩やかではあるが回復してきているといわれていますが、景況感の改善を実感できる状況にはなっておりません。4月から消費税率の引き上げ、電気料金の値上げも見込まれるなかで厳しい財政状況はしばらく続くものと受け止めております。このような状況ではありますが、汗を流し、英知を結集するなかで「活力みなぎる村づくり」「村民の皆様方が主役の村政の推進」に取り組むとともに、諸先輩方が築いてこられた良い伝統を守りつつ、「前例が無いからこそ行おう」をキャッチフレーズに新たな施策づくりにチャレンジしてまいります。村民の皆様方の目線に立った村政運営、意見や要望を十分にお聞きすることができる組織づくり、新たな試みに取り組んでいける組織づくりを進めるなかで、将来を見据え成果が見えるよう、活力ある元気な村づくりに取り組んでまいります。結びに貴クラブ並びに会員の皆様方のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



## ◆新年を迎えて

幹事  
L. 小池 強

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年7月の就任以来、田中会長の「過去に感謝し～未来への飛躍」のスローガンのもと、会員の皆様方には、50周年記念事業及び継続事業等々に絶大なるご支援とご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。特に記念大会の準備から、諸アクティビティにおいては、昼夜を問わずご協力いただき、言葉では言い尽くせぬ程の感謝の気持ちで一杯でございます。駒ヶ根ライオンズクラブの底力と裏方というものをたっぷり勉強させていただきました。残りの半年は「未来への飛躍」の一助となるよう田中会長と桃沢会計の助けを頂きながら、何とか任務を全う出来れば幸いです。



## ◆ご挨拶

会計  
L. 桃沢 克芳

新年あけましておめでとうございます。昨年7月より周年事業兼務で会計をおおせつかりました。元より未熟であり不慣れではありますが、会員各位のご理解ご協力を賜り、この浄財を適切に有効な予算執行でご期待にお応え出来る様心掛けを新たに致しました。駒ヶ根ライオンズクラブ生みの親でありますチャーターメンバーの皆様50周年本当におめでとうございます。先輩各位が忠実に継承されてきた歴史と伝統の中心である『奉仕の心』が駒ヶ根ライオンズクラブ50周年事業として恙無く催されました。何より心からお祝い申し上げます。微力ながら一緒に準備させて頂きました事を自分の思い出のアルバムに1ページとして加えられた事に衷心より感謝申し上げます。年も明け余すところ6ヶ月となりました。厳しい経済環境は相変わらずであります。中間決算の結果により予算執行率も5%位先行されております。後期もライオンズムの精神に叛く事無く、有意義な事業開催に支障の無い予算執行と、皆様のご協力を賜りながら限られた予算を有効に活用し、任期満了まで気を抜く事無く、責任を真つ当して参る所存であります。変わらぬご指導よろしくお願い申し上げます。

## 役員紹介



IR GMT-GLTアラート委員  
会員委員長  
L. 吉澤 正敏



前会長  
L. 池上 勝洋



第一副会長  
L. 宮澤 宏彰



第二副会長  
L. 米山 正和



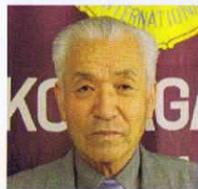
第三副会長  
L. 宮下 厚



L. テーマー  
L. 松川 常夫



テールツイスター  
L. 新井 博



財務委員長  
L. 竹内 寿一



計画委員長  
L. 松井 良介



保健奉仕委員長  
L. 木下 昌明



YCE委員長  
L. 松井 俊仁



環境保全委員長  
L. 下平 文隆



出席委員長  
L. 小澤 禮治



PR・IT委員長  
L. 米沢 浩一

環境クリーン全体事業 <平成25年 9月8日>

9月8日(日) 継続事業の全体環境クリーン事業を行いました。駒ヶ根市スポーツ少年団の子ども達・指導者・保護者・クラブ会員など総勢700名の参加者の協力により清掃活動を行う事が出来ました。

今年度は菅の台ライオンズの森と大田切川両岸、千寿園、昭和伊南総合病院とフラワーハイツの3会場に分かれて行い、作業開始の頃は小雨まじりの最悪のコンディションでしたが、子ども達が率先してゴミ拾いや草を取る熱意が通じたのか、だんだんと雨も上がり、みんなで気持ちのよい汗を流すことができました。

近年では観光地や街中にもゴミは少なくなり、クリーン事業の会場を変更することも検討課題となっていますが、環境問題について清掃活動を通じて次代を担う子ども達に受け伝え、引き継がれていくことを願い実施されていけばと思います。



ふれあい広場に参加 <平成25年 9月8日>



「つながりある みんなのために、今ここにいるあなたのために」「であい ふれあい かがやくいのち」を標語に掲げ、一般団体・施設、福祉団体、ボランティアグループ、学校・保育園、個人有志など総勢数百人の参加によりふれあい広場が開催されました。

当クラブからも会長のL.田中一正以下6名が参加しました。開会式では、今年も東日本震災復興支援ソングの「花は咲く」を全員で合唱。又、会場内の「あおぞらテント村」では沢山のブースが展示し、大勢の人々で賑わっていました。



秋季ライオンズ旗争奪リトルリーグ大会 <平成25年 9月14日>

YCB委員長 L.松井俊仁

今年度のライオンズ旗争奪リトルリーグ大会は環境クリーン事業と同日開催となっていました。当日9月8日(日)は朝から天候が悪く大会は14日(土)同時刻同グランド(9:00開会 早実グランド)に延期されました。

当日は、台風前で天候も心配されましたが、好天に恵まれ開会式では、幹事L.小池強挨拶、各チームへ今年度は要望によりスポーツドリンクを贈呈し健闘を称えた後、ウォーミングアップ充分な会計L.桃澤克芳の始球式で幕が開きました。子ども達の元気な挨拶と礼儀の良さに感動し、怪我もなく無事終了することができて良かったと思います。尚、今年度でリトルリーグが解散すると言うことで、「ライオンズ旗争奪リトルリーグ大会」の名称や、どのような形で運営されていくのかは不透明で今後検討事項が残ることとなりました。

試合結果は優勝…南チーム、準優勝…竜央チーム、3位…東チーム4位…赤石チーム、5位…北チーム、6位…西チームとなりました。



中央アルプス山頂美化活動 <平成25年 10月16日>

当初予定されていた10月16日の「駒ヶ根・宮田高原を美しくする会」主催による中央アルプス美化清掃は、台風26号の為延期され、17日に行われました。

当クラブからは、環境保全委員会のL.城倉とL.武田が参加し、朝8時の定期バスで出発しました。

菅の台のバス停では、多くの登山者が乗り込み満席状態になり、地元に住んでいても登る機会の少ない私は、秋の中央アルプスの人気に驚かされました。

各団体からの参加総数は69名という事でしたが、日程変更により若干減ったようでした。配布されたビニールを持ち、担当地区の八丁坂へとゴミを探しながら登って行きました。ロープウェイを降りた時感じたのですが、登り始めて改めて眺めてみる台風一過のコバルトブルーの青空は素晴らしく、こんなチャンスは滅多にないだろうと、この様な機会を与えてくれた事に感謝したものです。

落ちていたゴミは、風に飛ばされたおにぎりのラップぐらいの物でほとんど見当たらず、多分他の参加者もそうであったと思います。

環境保全委員会 L.武田三郎



赤い羽根歳末共同募金贈呈 <平成25年 12月13日>



駒ヶ根ライオンズクラブが毎年行っている「赤い羽根共同募金」。駒ヶ根市へ5万円、飯島町へ2万円、宮田村へ2万円、それぞれ贈呈しています。

12月13日には会長L.田中一正、幹事L.小池強、会計L.桃澤克芳の3名が駒ヶ根市役所へおもむき贈呈式が行われました。

少額ですが、少しでも社会の役に立つことを願い、これからもこの活動が続くことを希望します。

献血推進奉仕活動 <平成25年 7月~12月>

保健奉仕委員会では、今年も重点活動であります献血奉仕活動を精力的に推進してまいります。7月1日を皮切りに、来年の4月29日まで26会場において献血活動を行います。

1月までの活動は16会場にて行われ、306,200mlの採血をすることができました。

今後の活動につきましても皆様のご協力をお願いいたします。



H25年度	採血場所
7/ 1 (月)	駒ヶ根市役所
7/ 3 (水)	日本発条(株)駒ヶ根工場
7/29 (月)	(株)NTKセラミック
8/19 (月)	天竜精機(株)
8/19 (月)	昭和伊南総合病院
8/26 (月)	(株)コガネイ 駒ヶ根事業所
9/ 7 (月)	ベルシャイン駒ヶ根店【体験キャンペーン】
9/22 (日)	長野看護大学
9/30 (月)	(株)南信精機製作所
9/30 (月)	(株)マルヤス長野
10/29 (火)	JA上伊那駒ヶ根支所
10/29 (火)	(株)ヤマウラエンジニアリング事業部
11/27 (水)	トーハツマリン(株)駒ヶ根工場
12/ 3 (火)	日本発条(株)駒ヶ根工場
12/ 6 (金)	日本電産(株)長野技術開発センター
12/ 6 (金)	養命酒製造(株)駒ヶ根工場

# 駒ヶ根ライオンズクラブ

## 記者懇談会 <平成25年 7月25日>



駒ヶ根商工会館4階研修室にて7月25日(木)の午後2時から、地元の報道機関にお集まりいただき記者懇談会を開催しました。当クラブからは会長、幹事、会計の三役をはじめ9名が出席し、基本方針、事業計画の説明をしました。本年度はクラブ結成50周年の節目に当たることから、田中会長が各報道機関に対し、一層のご理解と取材協力をお願いし、また、50周年記念事業の各担当部長から記念事業の内容について説明を行いました。

## 地区ガバナー公式訪問 <平成25年 9月8日>

334-E地区1R2Z 地区ガバナー公式訪問が、9月8日伊那ライオンズクラブのホストにより、マリエール伊那で開催されました。当クラブより総勢21名が参加、午後1時30分より地区ガバナーとの懇談会、引き続き合同例会が行われました。

その席において甘利直和ガバナーはスローガン及び基本方針を熱く語られました。特に震災支援事業の継続、会員維持・増強を最重要項目であることを説明されました。その後、歓迎懇親会が盛大に行われ、全日程を修了いたしました。



## 茸狩り例会 <平成25年 10月18日>



出席委員長 L.小澤禮治

今年は「茸は豊作か!？」と期待されましたが、例会が近づくにつれ不作が心配されました。例会日の10月18日は早朝より13名のライオンが、L.下島利満、L.林善之からお借りした山へ向かいました。結果は、「参加することに意義があり久しぶりの山歩きに満足した」というコメントになりましたが、茸狩りに慣れたメンバーはそれなりの収穫がありました。

今年は、来賓をご招待せず身内のみとなりましたが、例年通りL.宮下厚に競りの進行をお願いし、会場の割烹いわたやのL.池上博康の腕の振るいぶりもあり美味しく賑やかに過ごすことができました。茸のなどの仕入れに幾日も奔走いただいたL.小林正人には改めてお礼申し上げます。盛大に開催できたことを感謝申し上げます。



# の活動および例会報告

## クリスマス例会 <平成25年 12月20日>

計画委員長 L.松井良介



今回はなるべく多数の方に参加していただけるよう家族同伴というスタイルでご案内させていただきました。しかしながら50周年式典を盛大におこなったばかりで、昨年と同じ位の出席数でとどまりました。

余興では駒ヶ根在住の大庫こずえさんにちょっと他では聞けない珍しい琴と唄の一人演奏をしていただきました。ビンゴゲームとジャンケン大会で豪華賞品争奪戦で盛り上がりました。とても立派なシクラメンのプレゼントは、今年からは参加メンバーのみとさせていただきます。

なにか50周年の慰労会みたいな、年を閉める和やかな良い例会となりました。



## 新春祝賀例会 <平成26年 1月10日>

1月10日(金)午後5時30分から、恒例の新春祝賀例会がグリーンホテル1階大広間で行われ、新春を祝い新年も社会奉仕に精進することを全員で誓い、今後のクラブ活動をふりかえりながら、会員の協力に感謝しました。

初めに田中会長の挨拶で始まり、11月に行われたクラブ結成50周年記念式典が無事成功裏に終わった事にお礼の言葉と、残り半年のクラブ活動についても前向きに奉仕を行なっていくと呼びかけました。

続いて行われた祝賀懇親会には駒ヶ根副市長の堀内秀様をはじめ多くのご来賓が出席され賑やかに祝宴が開催し、今年の駒ヶ根ライオンズクラブの門出を祝い全員で祝杯を上げました。





## 記念事業

### 献眼者・物故ライオン慰霊法要

9月17日(火)15時より、駒ヶ根市上穂栄町の安楽寺において、志半ばで先立たれた諸先輩や尊い献眼者のご冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表したく、慰霊法要を開催しました。



### 電気自動車寄贈

4月26日(金)に駒ヶ根市に電気自動車(250万円相当)を寄贈しました。爽やかなアクアブルーの車体の両サイドには「地球にやさしいまち KOMAGANE CITY」という文字が入り、ナンバープレートも「50」です。



### 聴覚障がい者福祉支援

「第22回夏季デフリンピック世界大会」日本代表水泳選手藤川彩夏さん(駒ヶ根市)に支援金10万円を贈呈しました。



### 青少年健全育成

駒ヶ根市スポーツ少年団に支援金10万円相当を贈呈しました。

### 青少年健全育成補助

駒ヶ根市の中学校へ40万円相当、飯島町の中学校へ30万円相当、宮田村の小中学校へ20万円相当のそれぞれの品物を贈呈しました。



### LCIF基金協力者

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| L. 田中 一正 | L. 小池 強  | L. 桃澤 克芳 | L. 堀内 寿雄 |
| L. 井上 勇  | L. 小池 和夫 | L. 井口 美義 | L. 横山 信之 |
| L. 宮澤 宏彰 | L. 宮下 厚  | L. 下平 文隆 | L. 米山 正和 |
| L. 下村 明  | L. 吉澤 正敏 | L. 小林 清志 | L. 小林 正人 |
| L. 竹村 衛  | L. 小林 正博 | L. 松川 常夫 | L. 新井 博  |
| L. 宮澤 栄重 | L. 林 茂男  | L. 北原 公和 | L. 原 清美  |
| L. 城倉 寿一 | L. 山浦 恭民 | L. 滝本 好美 |          |

ライオンズクラブ国際財団(LCIF) 基金 〈27口〉 \$ 27,000



## 式典・祝宴



### 50周年記念大会のお礼の挨拶

会長 L. 田中一正

今日まで地域と共に実績を積み重ね発展を続けた先輩の方々に感謝し50周年記念大会も、メンバー、パートナー皆様にご協力いただき無事行うことが出来ました。お礼申し上げます。節目の年を契機に、なお一層ライオニズムの高揚に精進して参ります。